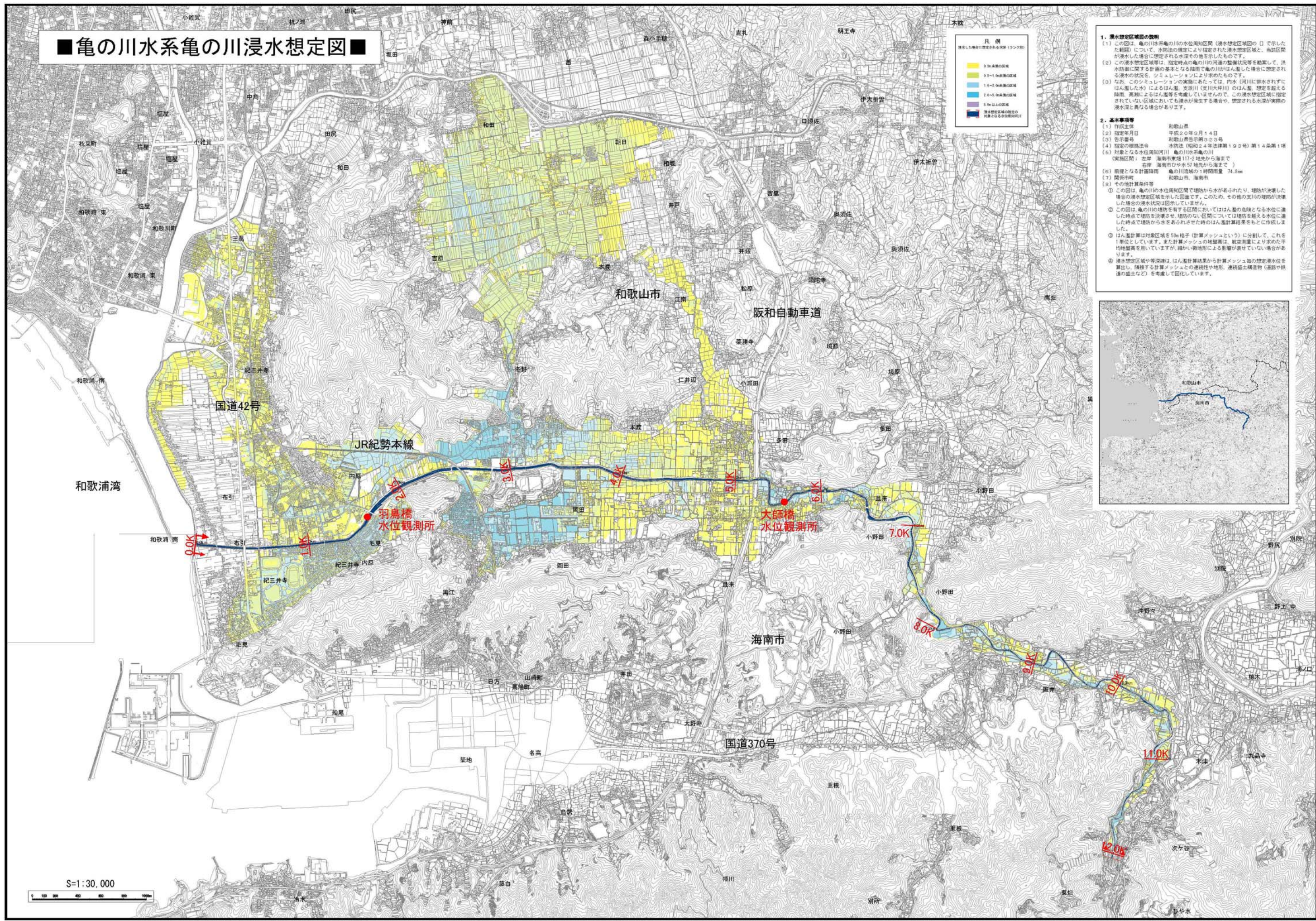


# ■ 亀の川水系亀の川浸水想定図 ■



凡例

0.5m以上の浸水想定区域
0.5~1.0mの浸水想定区域
1.0~2.0mの浸水想定区域
2.0~3.0mの浸水想定区域
3.0m以上の浸水想定区域
浸水想定区域の指定の対象となる河川区間の位置

1. 浸水想定区域の説明
- この図は、亀の川水系亀の川の水位周知区域（浸水想定区域の□で示した範囲）について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他の地を示したものです。
  - この浸水想定区域は、指定時点の亀の川の河道の敷設状況等を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨で亀の川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
  - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、内水（河川に排水されずにはん濫した水）によるはん濫、支那川（支川大井川）のはん濫、想定を超える降雨、高潮によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- 作成主体 和歌山県
  - 指定年月日 平成20年3月14日
  - 告示番号 和歌山県告示第233号
  - 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
  - 対象となる水位周知河川 亀の川水系亀の川（実施区域：左岸 海南市東郷117-2地先から海まで / 右岸 海南市ひや水57地先から海まで）
  - 前提となる計画降雨 亀の川流域の1時間雨量 74.8mm
  - 関係市町 和歌山県、海南市
  - その他計算条件等
    - ① この図は、亀の川の水位周知区域で堤防から水があふれたり、堤防が決壊した場合の浸水想定区域を示した図面です。このため、その他の支川の堤防が決壊した場合の浸水状況は表示していません。
    - ② この図は、亀の川の堤防を有する区域においてははん濫の危険となる水位に達した時点で堤防を越え、堤防のない区域については堤防を越える水位に達した時点で堤防から水があふれさせた時のはん濫計算結果をもとに作成しました。
    - ③ はん濫計算は対象区域を50m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位としています。また計算メッシュの地盤高は、航空測量により求めた平均地盤高を用いていますが、細かい地形による影響が表れていない場合があります。
    - ④ 浸水想定区域や等深線は、はん濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や地形、連続盛土構築物（道路や鉄道の盛土など）を考慮して図化しています。



S=1:30,000